

展覧会への招待

鈴木コレクション—おもちゃ絵の世界

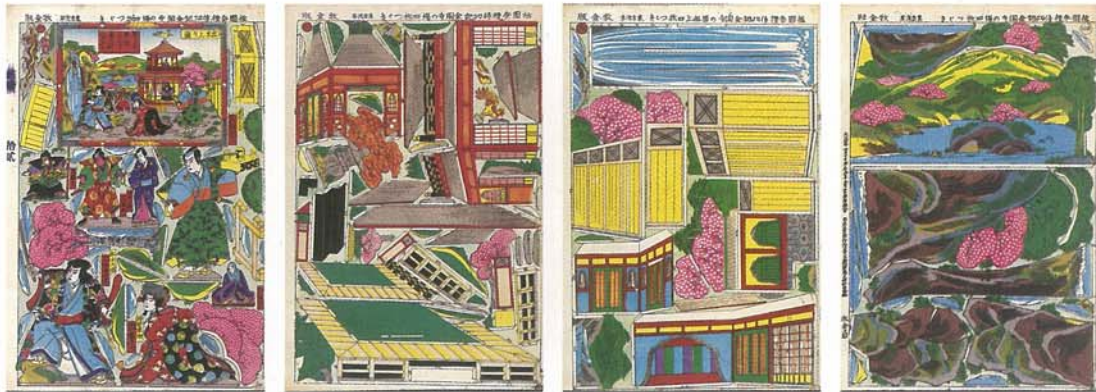
この展覧会は、玉川大学教育博物館と松竹大谷図書館が所蔵する鈴木コレクションを紹介するものです。両館が所蔵する資料は、いずれも鈴木三郎助氏から寄贈を受けたもので、玉川大学は、組上燈籠・物尽くし絵・着せ替え絵・変り絵・武者絵・教育絵など91種、松竹大谷図書館は芝居関係の組上燈籠を中心とした資料93種を所蔵しています。

おもちゃ絵とは、簡単にいえば子ども用の錦絵のことをさし、江戸時代から大正時代にいたるまで大いに流行した遊び物です。対象は子どもでしたが、中には組上燈籠のように大人も楽しめる内容のものもあります。その種類は多様で、ハサミや刃物で図を切り取り、風景や芝居場面を組み立てる組上燈籠のほか、着せ替え絵、紙相撲、メンコ、カルタ、絵合わせ、福笑いなどのように玩具・遊具として使用するものや豆本、絵巻風に仕立てて鑑賞するものなどがあります。ほとんどが切り刻まれる運命にあるおもちゃ絵は、現存するものが稀少なため、保存状態のよい鈴木コレクションは今に伝えられたこと自体、きわめて貴重であるといえます。また同コレクションには画家、版元、時代性、地域性を含め、美術史や文化史的な面からみても価値のある資料が多数含まれています。

今回の展覧会は、実物資料と複製から実際に組み立てたものを同時に紹介することで、当時おもちゃ絵がどのように楽しまれたかを再現した展示を構想しています。なお、会期を2期に分け、Ⅰ期では玉川大学教育博物館所蔵資料、Ⅱ期には松竹大谷図書館所蔵資料を展示いたします。皆様のご来館を心からお待ち申し上げます。(企画担当 柿崎博孝)



くみあげ
上野公園動物園組上ケ
(下は複製からの完成形)
明治24(1891)年 大判錦絵4枚続
玉川大学教育博物館蔵



ざ おんざいれいしんこう き
 祇園祭礼信仰記金閣寺の場
 (左は複製からの完成形)
 大正4(1915)年 大判錦絵4枚続
 松竹大谷図書館蔵

2010年度企画展 鈴木コレクション—おもちゃ絵の世界

【会 期】 I期 2010年10月25日(月)～12月3日(金)

II期 2010年12月10日(金)～2011年1月28日(金)

【主 催】 玉川大学教育博物館・財団法人松竹大谷図書館

【時 間】 9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館無料

【休館日】 土・日、11/9・10、12/25～1/6、1/10

(11/3、6・7、14、23、12/12、18・19、23、1/22・23は開館します)

◆講演会(要予約)

① 11月14日(日) 13:30～14:45 講師：柿崎博孝(玉川大学教育博物館准教授)

内容：鈴木コレクションからおもちゃ絵の世界をみる 会場：大学8号館123教室

② 12月12日(日) 13:30～14:45 講師：藤澤 紫(玉川大学芸術学部非常勤講師)

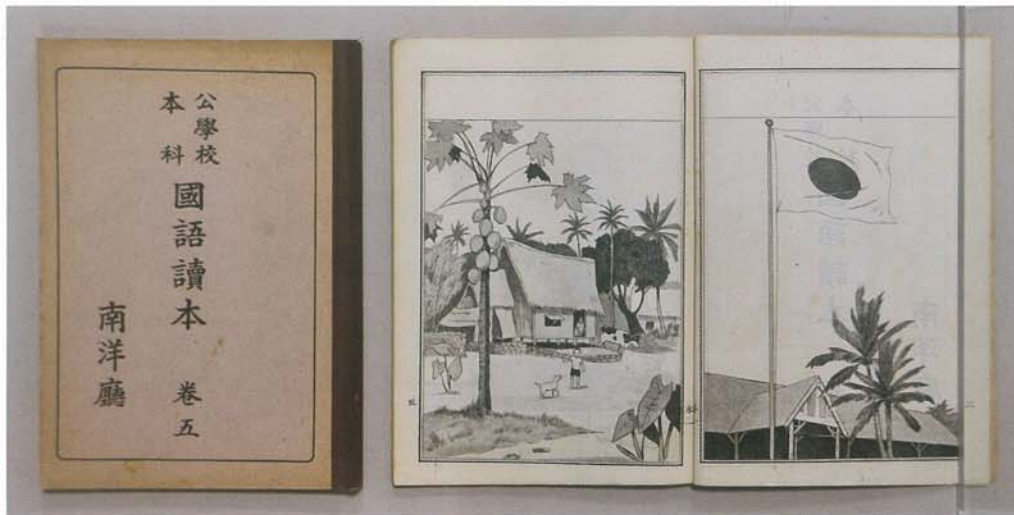
内容：浮世絵と歌舞伎一組上燈籠を中心に 会場：大学8号館123教室

※往復はがきに ① 参加希望の講演会日 ② 参加者氏名(複数名申込可) ③ 代表者の住所・氏名・電話番号を明記の上、各講演会10日前までに当館に郵送(必着)して下さい。

◆ギャラリートーク(予約不要) 11/19、12/3、12/17、1/23 11:00～12:00(展示会場)

新収資料紹介 南洋庁発行 『公学校本科 国語読本』

白柳弘幸



21.2 × 15.0 × 1.0cm 公学校本科国語読本 卷五(左) 同 卷一(右)

教育博物館では、戦前、植民地統治下にあった台湾や朝鮮の現地人子弟が使用した初等教育段階を中心とした教科書を、約1万2千冊所蔵しています。本年度から3ヶ年、これらを使用して2回目の科学研究費補助金の採択を受けた研究活動が始められています。

今回、これまで未所蔵であった南洋庁発行『公学校本科 国語読本』（以下、国語読本）を入手しました。南洋群島は第1次大戦後に日本の委任統治領となり、日本から多数の植民者が移住しました。植民者の子弟は内地と同様に国定教科書で学びましたが、現地人子弟には、異なる教科書が使われました。

南洋群島の島々に現地人子弟の通学する初等教育段階の学校を設置したのは、「南洋群島島民を日本化する」ためでした。その目的遂行のために『国語読本』が作成されたのです。南洋庁発行（軍政期の臨時南洋群島防備隊司令部発行も含む）『国語読本』は第4次まで刊行され、今回入手したものは最終期となる第4次の昭和12年から発行された『公学校本科 国語読本』『公学校補習科 国語読本』全10巻の内8冊です。教科書の表紙の色は、台湾総督府発行・第4期国語読本に似たラクダ色です。

1年生になって一番初めに開く『国語読本』のページには、椰子の木の上に翻る日の丸の旗の絵が描かれています。同時期の台湾総督府発行『公学校用国語読本巻一』では朝会時に揚げられている日の丸を生徒たちが見上げています。2つの教科書は国家の象徴としての日の丸を一番初めに学ばせていたのです。こうした教科書比較研究は緒に就いたばかりです。

（しらやなぎひろゆき／教育博物館学芸員）